

会議の結果報告

名称	令和7年度 大三島地区学校適正配置地元代表協議会【第3回】	
開催日時	令和8年2月5日(木) 19時00分～20時20分	
開催場所	上浦開発総合センター2階 大ホール	
出席者	【委員】 会長 外20名(教育長、副教育長を含む)	
	【その他】 上浦支所長、大三島支所長	
	【事務局】 今治市教育委員会教育政策局長 外9名	
傍聴者	なし	
議題	1	望ましい学校のあり方について
	2	意見交換
	3	中間まとめ
議事内容	1	<p><b>望ましい学校のあり方について</b></p> <p>事務局からたたき台としての統合校の場所、統合校のあり方についての提案を提示した。</p>
	2	<p><b>意見交換</b></p> <p>(地域の意見)</p> <p>大三島中学校での小中一貫校として小中学生が一緒になることで、交流が広がり、良い効果が期待できるが、施設の増改築等、費用面の課題が大きく、これを解決しないと合意形成は難しい。ただし、検討するにあたっては、大人側の都合だけでなく、「児童の視点」を最優先して考える必要があるとの意見があった。</p> <p>(保護者の意見)</p> <p>少子化で小学生数が今後減ることを踏まえ、また小学校施設の老朽化から小中一貫校を検討すべき、との意見があった。</p> <p>(保護者の意見)</p> <p>(小中一貫校にして)9年間同じところに通うことは、小学生にはしんどいのではないか。小中学校で環境を変えた方がいいと思うので、小中一貫校は(選択肢に)ない、という意見があった。</p> <p>(学校の意見)</p> <p>両地域(上浦町・大三島町)に学校があることが望ましい。学校と地域とのつながりが得られやすいとの意見があった。</p> <p>他、同様に、双方の地域の特色を学ぶ機会が広がる。</p> <p>学校では授業時間の制約があるため、移動時間を含め、地域との交流は近</p>

	<p>い地域での活動となるのが実情である、との意見があった。</p> <p>(保護者意見)</p> <p>上浦町側は上浦小学校を望み、大三島町側は大三島小学校を望み、双方が譲れない思いを持っている。また、複式学級にはデメリットだけでなくメリットもある。また、小学校施設は老朽化し大規模改修が必要だが、将来的に児童数が減り、小中一貫校になる可能性が高いため、「大規模改修が必要になるまでは小学校は2校のまま存続させ、中学校の準備が整った段階で小中一貫校にすべき」との意見があった。</p> <p>他、同様に、本当に運営が厳しくなってからの統合でよい、との意見があった。</p> <p>(学校の意見)</p> <p>複式学級では運営上、教員負担が大きく、研修等で人が抜けると学校運営が成り立ちにくいという問題があるため、複式は出来るだけ避け、統合は必要だと感じている、との意見があった。</p> <p>(保護者の意見)</p> <p>統合はやむを得ないし、大三島小の場所に行く可能性が高いとは思っている中で、大三島は広く、朝が早すぎてお弁当など保護者の負担が大きく、始業時間を見直してほしい、との意見があった。</p>
3	<p><b>中間まとめ</b></p> <p>これまでに出了意見を、令和7年度の中間まとめとすることで決定し、その内容を「支所だより」にて住民に周知することを決定した。</p>
備考	<p>次回の開催は、令和8年度の委員交代が完了した後、日程調整し、5月中旬を目処に大三島公民館で開催予定。</p>